

10月の保育のねらい 聞法(よくききます)

- ・仏様や尊い方の伝記やお話をよく聞いたり、絵本を読む。
- ・他人のお話をよく聞く。
- ・お行儀よくお話を聞く。
- ・わからない事は人に尋ねる。



ふじ・さくら・たんぽぽ組

- ・秋の自然に興味・関心を持ち、友達と楽しく遊ぶ。

ひまわり・れんげ組

- ・友だちや保育士と身体を動かして遊ぶことを楽しむ。

<行事予定>

日	月	火	水	木	金	土
		1 衣替え あそびにおいでデー	2 運動会予行練習	3	4 布団・ズック 持ち帰り	5 運動会
6	7 身体測定 (れんげ)	8 身体測定 (ひまわり)	9 身体測定 (ふじ・さくら ・たんぽぽ)	10	11 常然寺報恩講 14:00～(ふじ・さくら) 布団・ズック 持ち帰り	12
13	14 スポーツの日	15 あそびにおいでデー 申請書受付 (～31日まで)	16 ミニ運動会 (ふじ組、かわだ 保育所と交流)	17 遠足 (雨天中止) 愛情弁当	18 布団・ズック 持ち帰り	19
20	21 集金袋持ち帰り	22 絵本デー (ふじ・さくら)	23 避難訓練	24 誕生会	25 布団・ズック 持ち帰り	26 未満児保育参観 (ひまわり・れんげ1)
27 河和田地区 文化祭 つつじっこ フェスタ	28 集金引き落し日	29 芋掘り(ふじ) (雨天30日順延)	30 芋掘り(ふじ) (雨天順延)	31 交通教室 10:00～11:00 就学時健康診断 (吉川小)		



給食献立表 10月分

1日 (火)	南瓜ひき肉フライ 白菜のおかか煮 ゆで豚と野菜のサラダ
2日 (水)	鶏肉の磯辺揚げ つき大根煮 コールスローサラダ
3日 (木)	ソーセージドック 肉野菜炒め 春雨の酢の物
4日 (金)	豚汁 エビシューマイ スパゲティーサラダ
7日 (月)	蓮根の挟み揚げ 小松菜の煮びたし マロニーサラダ
8日 (火)	鮭のきのこバター焼き 焼きそば もやしのごま和え パイン缶
9日 (水)	ハンバーグ ひじき煮 カニカマ野菜サラダ
10日 (木)	豆腐ナゲット 小煮しめ 玉子サラダ
11日 (金)	カレー汁 福神漬け 棒々鶏サラダ バナナ
15日 (火)	ハムステーキ マーボー春雨 れんこんサラダ
16日 (水)	かき玉汁 肉ギョーザ ハム野菜サラダ
17日 (木)	愛情弁当 誤嚥事故防止のため、ミニトマトやブドウ等の球状の食品は、柔らかくしたり、切ったりしてお弁当に入れるようお願いいたします。
18日 (金)	白身魚の立田揚げ ベーコンもやし炒め スイートポテトサラダ
21日 (月)	いかの天ぷら きのこ玉子とじ 大根サラダ みかん缶
22日 (火)	野菜コロッケ 酢豚風煮 じゃこサラダ
23日 (水)	ホッケの塩焼き 五目豆煮 ごぼうサラダ 黄桃缶
24日 (木)	肉野菜ラーメン 玉子焼き レタスサラダ ゼリー
25日 (金)	鶏の焼き肉 しらたき炒め 根菜コロコロサラダ
28日 (月)	ミニミンチカツ 卵の花 中華風酢の物
29日 (火)	鯖の生姜煮 インディアンポテト マカロニサラダ パイン缶
30日 (水)	鶏団子 白菜のスープ煮 春雨サラダ
31日 (木)	春巻 きのコスパゲティー ツナ野菜サラダ 白桃缶

* 24日は誕生会です。肉野菜ラーメンを作りますので、主食は要りません。

* 行事食の日を含め、お箸とコップは毎日お持ちください。

* 材料納入等、都合により献立を変更することがあります。

ほくほくとした触感と甘味が特徴のさつまいもは秋の旬の食材です。原産は中米で、日本には中国から伝わりました。主成分はでんぷんで、加熱するとその一部が糖質に替わり、焼き芋のようにゆっくり加熱するほどその甘さは増します。紅はるか、鳴門金時、安納いもと種類が豊富なので、いろいろな品種を試してみるのもいいですね。

<お知らせ>

- ※1日(火)は、衣替えです。通園服、黄帽子のゴムなどを確かめてください。
まだ暑い日が続きそうですので、制服は夏用・冬用どちらでもいいです。お子さんの体調を見て着用してください。帽子は黄色帽子をかぶってください。
- ※遊び着はループを確かめて、10月7日(月)から持たせて下さい。
(まだ暑い日が続きそうですので園で遊び着を預かり活動に応じて着用します。汚れたら持ち帰りますので洗濯をしてお持たせください。)
- ※11日(金)は常然寺報恩講にふじ・さくら組はお参りに出かけます。14時からお参りに参加します。天候不順の場合は傘をお持たせください。
- ※2日(水)の予行練習は午前10時15分～鼓隊・ポンポンの予定です。
各クラスの競技の予行練習はありません。
- ※17日(木)の秋の遠足は、保育士と園児とで出掛ける遠足となります。
疲れしますので居残り保育は行いません。16時30分までにお迎えをお願い致します。
※雨天で遠足を行わない時は居残り保育を行います。
- ※令和7年度保育所入所申請書類を10月1日(火)に持ち帰ります。
受付期間は10月15日(火)～10月31日(木)までです。園に提出してください。

<お願い>

- ※10月1日～31日まで降園後に園庭を開放します。子ども達にも話をしますがお家の人に見てもらおう事、危ない遊びをしない事、使ったおもちゃを片付けて帰る事を約束して頂きたいです。お家に帰られる時は忘れ物が無いよう気をつけお子様と手をつないで、車の所まで行ってください。
- ※これからハンカチを忘れた時は新しいハンカチをお渡しします。次の集金日に110円請求させて頂きます。
- ※名札にシールを貼ったり持ってきてお友達にあげたりする姿が見られます。小さい子の口に入ってしまう事もありますので園には持ってこない様ご協力お願いします。
- ※持ち物に名前を書いてください。特に、衣類は枚数が多いので把握しきれませんので、肌着、靴下などにも書いてください。時々、お部屋で着替えの確認をお願いします。また、涼しくなってきましたら長袖の補充をお願いします。
- ※スーパーの袋・ナイロン袋を持ち帰りましたら、持ち帰った枚数分持って来てください。
- ※爪の長い子が見られます。爪が割れたり、お友達と遊んでいる時にひっかかたりしますので定期的に爪を見て、切ってあげてください。

【ふじ・さくら・たんぽぽ組より】

- ※まだ暑い日が続きそうですので汗拭きタオルを持たせてください。
- ※水筒にお茶をたっぷりに入れて持たせてください。



お部屋の中では…

ふじ組



ようやく朝晩は涼しくなり少しずつ過ごしやすくなってきました。日中はまだ暑いですが汗をかきながら太鼓の練習に励んでいます。音もそろそろようになり子ども達の成長に毎日嬉しく思っています。本番に向けてあと少し頑張っていきます。今年は異常な暑さもありなかなか外に出られませんでした。外で遊ぶ時は泥団子作りや秋の虫探しを楽しんでいます。捕まえた虫もどうするかお友達と話し合っ、間近に観察してから逃がしています。

さくら組



運動会に向けてポンポン・バルーンやリレーの練習を頑張っている子ども達。初めはバルーンの持ち方、動かし方も分からず戸惑っていたのですが、練習を重ねるにつれてみるみる上達し、「わぁ～大きく膨らんだ!」「すごい!出来た!」と喜び自信へと変わっていきました。楽しみながらの練習や当日への期待を積み重ねながら本番を迎える事が出来ればと思います。

たんぽぽ組



運動会に向けてかけっこやサーキット遊びを取り入れていきました。ルールを理解しながら1人ひとりが元気一杯走ったり、ジャンプしたり、虫に変身したりする事を楽しんでいます。「太鼓かっこいい!」「バルーン楽しそう!」と他のお部屋のお友達がしている事にも興味津々の様子です。戸外では虫探しも盛り上がっていますよ。

ひまわり組



9月も天気がすごく良かったので芝生で水遊び色水遊びをしたり、お遊戯場でボディペイントをして遊んでいきました。お友達と一緒に水鉄砲で水を飛ばしたり、色水では色が変化する様子にお友達と驚きながら楽しんでいる姿が見られました。初めてのボディペイントでは絵の具を手に着けて白い画用紙に力強く手形をつけてみんな興味津々になって遊んでいましたよ。また、体育館に行って『よ～いどん』の練習をしていきました。ひまわり組もこれから未満児参観があるのでサーキット遊びを取り入れて身体を動かしながら遊んでいきたいと思っています。

れんげ組(1歳児)



今月は、色水遊びやボディペインティングと色を使った遊びを楽しんでいきました。色を合わせて変化を楽しむ子や絵の具の感触を楽しむ子等、新しい体験に戸惑いながらも興味を持つ姿が見られました。少しずつ涼しい日も出てきています。体調の変化に注意していきながら10月は散歩で自然にも触れたりまた、室内で新しい体操を取り入れてたくさん身体を動かして楽しんでいきたいと思っています。

れんげ組(0歳児)



まだまだ暑い日が続いたので水遊びを楽しみました。色水を指でなぞってお絵かきをしたり、新聞を破って遊ぶ等色々な感触を楽しみながら過ごしました。最初は慣れない感触にびっくりする様子もありましたが、繰り返すうちに自分から触ろうと手を伸ばして遊ぶようになりました。これから涼しくなってくるので戸外に出掛けて体をたくさん動かして遊んでいきたいです。

こどもまんなか社会

先日9月7日に慈光保育園開設50周年記念式典が厳かに執り行われました。鯖江市長様をはじめ、来賓、理事、ふじ組の保護者様、ふじ組の子ども達、園の職員が出席し、たくさんの方々でお祝いをすることが出来ました。園長先生が50年の歩みとともに、阿弥陀様の「いつでもどんな時も必ず救う」という慈悲の光の力は強く、生きていくための支えとなり、阿弥陀様や色々なことに「ありがとう」と感謝する心は心豊かに生きていくための力となると思います。そんな力を子ども達にもつけてほしいという慈光保育園の願いを話されました。この慈光保育園の願いは50年間変わらない。そしてこの先も変わらない。と話されていました。

私も結婚をしてから慈光保育園に勤めるようになり長い間お世話になっています。旧園舎の頃からで、中山公園近くにありましたので天気の良い日は中山公園、グラウンド、農道、体育館横公園からスライダーの道やテニスコート横の山道を登ってレストハウスまで行ったり、中山公園横山道を登って展望台に行ったり、クマが出てくることを心配することなく色々な場所へ遊びに行きました。大きいクラスの子は友だちと歩いて登降園をしたり、家に帰ってからも友だちの家に自転車に乗って遊びに行っていたり、不審者や交通の危険を怖がるほどではありませんでした。納涼祭りでもお蕎麦屋さんがあったり、園庭でニワトリやアヒル、ウサギを飼っていたり、アレルギーや食中毒の問題も気になることはありませんでした。昔を振り返ると良かったなあ、楽しかったなあという思いもたくさんあります。

今は「こどもまんなか社会」こどもの最善の利益を目指す社会となっています。令和5年に「こども家庭庁」が創立され、「こども基本法」に基づく「こども大綱」が策定されました。すべての子ども達が健やかに育つこと、若者が生き生きと勉学や仕事に取り組む姿、安心して赤ちゃんが産めること。こんな環境は誰もが望むことと思います。一人ひとりの子ども達が大事にされ愛されていることを実感できる社会が目指されています。子どもを大切に思う大人の気持ちは昔も今も変わりません。

慈光保育園でも開設当時の思いと願いとともに、子ども達が安心して元気いっぱいお友だちと一緒に過ごす事ができるよう、職員一同努力し続けていきたいと思っています。

主任保育士 渡辺まゆみ

